

## 目 次

1. 自己紹介
2. 京畿道施策紹介(2018 ピョンチャン冬季オリンピック大会紹介)
3. 韓国の公務員と日本の公務員の違うところ(お昼の時間)
4. 日本の生活



### [1. 自己紹介]

こんにちは。

私は、韓国の京畿道庁から交流公務員として派遣されてきた秦徳勲(ジントッフン)と申します。

まず、自己紹介からさせていただきます。京畿道庁の連立協力課で、地方分権・教育協力チーム長を勤めて、日本に来ました。私は、1967年生まれで、50歳になりました。家族は4人で、社会福祉士として老人福祉センターで勤務している妻、大学2年生を終えて、休学して軍隊生活をしている息子、今年に立派に目標の大学に合格した娘がいます。趣味はテニスであり、休日は、妻が起きる前にテニスコートに行って運動をして午後には、妻に怒られないように洗濯や、愛犬のお風呂など家事をします。全国同好会テニスの男子ダブルス大会で優勝したこともあります。公務員の生活は、1991年から始めており、主な仕事は、公務員試験分野、観光分野、まちづくり分野、京畿道議会議長の秘書、連立政権担当の副知事の秘書などをしました。日本語は、2002年から独学で勉強していて、2008年に国費留学生に選ばれ、2年6ヵ月間、大阪近畿大学で、農産物流通システムという課題を持って、大学院に通いました。今回の日本の生活は、2017. 7. 26から、2018年の7月下旬までの1年間となります。皆さん、どうぞよろしくお願ひします。

### [2. 京畿道施策紹介-今回は、2018年平昌(ピョンチャン)冬季オリンピック大会紹介]

京畿道から派遣された職員が、江原道で開かれる2018平昌(ピョンチャン)冬季五輪を紹介することが、ちょっと変だと思ひますが、皆さんもよくご存知だと思ひますが、五輪は、全世界人の祭りで、私が日本に来て初めて紹介するのが、当然だと思ひて紹介します。

世界人の祭り、第23回冬季オリンピック大会は、大韓民国の江原道の平昌(ピョンチャン)で、2018年2月9日から、25日まで、17日間(2018平昌冬季パラリンピックは、2018年3月9日から、18日まで)開催されます。平昌では開・閉会式と、いろいろな雪上競技が開催さ

れ、江陵(カンヌン)では、氷上種目の全ての試合が、そして旌善(チョンソン)では、アルペンスキー滑降競技が開催されます。

大会期間には、五輪プラザ(平昌)で、さまざまなイベントが開催されます。聖火台(写真撮影)、メダルプラザ(メダル授与式と文化公演)、文化-IT体験館(韓国文化とICT、アナログとデジタルを融合させた展示、公演、体験中心の番組の提供)、プラザライブサイト(大型スクリーンを通じて生中継観覧)、その他、ロボット体験、後援社の広報館、国家別の広報館など、運営しております。

また、オリンピックのパーク(江陵)では、路上公演のオープンステージ、パークライブサイト(大型スクリーンで生中継観覧)、国家別の広報館及び、スポンサーの最先端サービスを接することができます。

江原道の大会場(平昌、江陵、旌善)までは、仁川空港から、高速鉄道(KTX)で、2時間以内で行けますし、江原道市内から、競技場までは、シャトルバスで連結しているので、移動では、不便さは全然ないと思います。

開催地近くから1時間の距離には、1日約55,000の客室を提供して、皆様の旅行に不便がないよう最善を尽くしています。

2018冬季五輪が開かれる江原道は、ソウルからみて日本がある方向で、車で約3時間かかる山岳地形で、日本の長野県と類似した地域です。その中でも、平昌は、海拔700mに位置して`韓国のアルプス`という愛称があり、人口43,000人ほどの小さな都市です。平昌の代表的な観光地としては、月精寺、五台山(紅葉、登山)などがあり、ビビンバサラダ、韓牛の焼肉など、日本人向けの料理を開発して待っています。

江陵は、大韓民国観光の1番地として、夏休みの時は、韓国人が最も多く訪れる名所で、海と松葉の香りで有名な地域であり、特に、韓国の五万ウォン札紙幣に描いている`申師任堂`の出身地域で、知られた所でもあります。刺身、各種海産物を利用した食べ物と山菜ビビンバなどが、用意されています。

旌善は、`自然が隠しておいた名作`と言われる自然、そのままを大切にした都市です。韓国の民謡`旌善アリラン`の舞台である`旌善アリラン市場`で、よく知られた地域で、韓国の田舎を接することができる貴重な機会になることです。

2018年2月と3月には、スピードスケート、フィギュアスケート、スキージャンプ、カーリングなど、世界的に水準が高い日本選手たちを応援しに大韓民国の江原道の平昌にいらっしゃいませんか？

### [3. 韓国の公務員と日本の公務員の違うところ:お昼の時間]

韓国の京畿道庁の公務員と、日本の神奈川県庁の公務員とは著しい違い点は、やっぱり昼食の時間を過ごす風景です。韓国では、昼食時間を過ごすのに、いろんな過ごし方があります。まず、健康を考えて11時30分から構内食堂に行って早く食べて、13時まで散歩をする人、出勤してから昼食約束をする人、局長や課長など上司達の日程を確認して、上司が、約束がなければ一緒に、約束があれば一緒に待っていた職員と外食をするのが一般的です。また、チーム員の中で昼食時間になっても仕事で他の部署から帰らなければ、

電話とか、昼食をどうするか確認して一緒に行くか、別々に行くかを決めます。

韓国の人は、皆、食べることを一番大事にしています。朝、目上の人に合わせて挨拶をする時に挨拶言葉が`おはよう`より`食事しましたか`という言葉で挨拶します。このように韓国の人は一緒に食事をしたか、しなかったかで、二人の親密感をはかることができます。食事の約束をする時、先に`食事しましょう`と誘ったら、それは 食事代は私から払いますという意味ですから誘う時、注意しなければなりません。

#### [4. 日本の生活]

日本へ来る前の韓国での生活は、副知事の女性秘書の電話から始まります。`チーム長、副知事が呼んでいます`という声を聞いて走り出します。また、部下達に業務指示をしてから、その答えをイライラして待っています。このような韓国での生活は、時間が過ぎるのが分からない位せわしく過ごしていました。

2017. 7. 26 からいよいよ 1 年間の日本の公務員生活が出来るようになりました。2008 年に留学生活をして以来、2 回目の日本での生活になります。ただ大阪と横浜という場所の違いがあります。

一人での寮生活は、大学の自炊と軍隊時代の生活より面白く過ごしています。28 歳に結婚してから 50 歳になった今まで、初めての一人暮らしで喜ぶか、寂しいか結論はまだ分かりません。朝 5 時に起きて寮のロビーでのテニスフォーム練習、腹筋や太ももトレーニングして、食パンやバナナやジュースで簡単に食事をして、電車と歩きで出勤します。

仕事は課の行事支援や韓国の研修団受入時の案内や通訳をしています。夜には、たまに課員との飲み会をします。そのときは日本のサラリーマンになったと錯覚します。週末は、テニスクラブへ行って、一日テニスをしながら過ごしています。これが日本での私の生活です。特に、`雨でも楽しい箱根大涌谷`という、かなチャンTVの番組に出演したことや韓国語の講座を始めたのは、貴重な経験です。

夏休みを利用した東京の浅草寺、明治神宮、お台場、東京都庁、東京大学、銀座など東京の名所を見て回り、鎌倉の自然を見ました。

日本での 1 年間の生活で、韓国でのせわしさやイライラする気持ちを捨てて、余裕を持って待つことが出来る性格に少し変わったらいいいと思います。出来るかどうか分かりませんが・・・

(出演した番組です。ぜひ皆さん見てください！)

(県職員向け韓国語講座を開講しました！)

